

## 令和2年度第7回士別市教育委員会会議録

1. 日時 令和2年8月5日(水) 午後3時58分～午後5時30分
2. 会場 教育委員会 会議室
3. 出席者
- |       |         |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
| 教育長   | 中 峰 寿 彰 | 合宿の里統括監 | 三 上 正 洋 |
| 職務代理者 | 五十嵐 紀 子 | 学校教育課長  | 須 藤 友 章 |
| 委員    | 馬 場 千 晶 | 社会教育課長  | 武 山 鉄 也 |
| 委員    | 加 藤 洋 之 | 図書館長    | 岡 田 英 俊 |
| 委員    | 山 田 敦 久 |         |         |

### 4. 議 件 (発言者、議事要旨及び議決事項)

#### ○中峰教育長あいさつ

今日で一学期が終わり、全ての学校で当面予定していたカリキュラムを終了した。本日未明に大雨が降り、本市にも警報が出ていたため、万が一に備え、部長を中心に連絡体制をとっていたが何事もなく安心した。九州や北陸、東北などで豪雨による災害が発生している。現状で災害が発生した場合には避難所の感染症対策が必要になることなども踏まえ、今朝、災害対策本部の訓練が実施された。避難所の運営は教育委員会と健康福祉部が担当することになるが、避難所となる学校ごとの対応を考えておかねばならない。

後ほど今後の行事予定などをお知らせするが、延期していた修学旅行は、8月下旬の上士別中を皮切りに順次実施される予定。実施にあたっては、各学校で国の「GoTo キャンペーン」や、北海道の「教育旅行支援事業」などの活用を検討している。道の「教育旅行支援事業」では、移動方法をJRから貸切バスに変更した場合の経費は対象外とされていたが、その後の協議によって対象となった。

来年度から中学校で使用する教科用図書採択協議会の会議が先月開催され、第6地区としての教科書を採択した。次回の会議で教育委員会として決定いただく予定である。また、あわせて昨年度における実施した「教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価」の議会報告に向けて、評価委員会での議論も経た内容をお示しする。

子どもたちにとっては短い夏休みになるなか、天候不順との予報が出ているが、様々な体験をしてもらいたい。

本日もよろしく願います。

#### 1 議事について

##### ○中峰教育長 進行

議案第14号 令和2年度士別市文化賞審議会に対する諮問について説明を求める。

##### ○武山課長

前回の会議でお知らせしたとおり、7月22日まで文化賞候補者を募集していたところ1件の推薦があった。本日の会議で審議会に諮問することが決定した場合は、今月中に審議会を開催し、その結果を教育委員会会議に報告することになる。なお、受賞が決定した場合は、11月3日の文化の日の直近の平日に、市政功労表彰とあわせて、表彰式を行う予定である。文化賞が創設された昭和33年以降、50組の個人・団体が受賞しており、文化奨励賞を合わせると受賞した個人・団体の数は63組である。

○中峰教育長

本市の文化の発達や教育も含む分野で尽力いただいた方に贈られる賞である。表彰の時期を考えると、諮問会議の時期は、もう少し後ではどうか。

○武山課長

記念品とする楯の製作に時間がかかるため、この時期に開催する必要がある。

○中峰教育長

9月上旬までには審議会を開催しなければならないということによいか。なお、推薦書に加え、候補者の公職等を記載した資料が必要ではないか。

○武山課長

諮問することになった場合、経歴等についてさらに本人に確認し、必要な追加資料を用意する。

○中峰教育長

この件に関して、審議会に諮問することによろしいか。

(全員了承)

※ 議案第14号了承

## 2 報告について

○中峰教育長

第3次子ども読書活動推進計画の策定について説明を求める。

○岡田館長

平成15年から北海道教育委員会が「子どもの読書推進計画」を策定している。本市では平成23年に初めて計画を作成し、平成28年には第2次計画したが、今年度で計画期間が満了する。令和3年度からの第3次計画策定に向け、7月18日に第1回目の策定委員会を開催した。本年4月から委員会を開催する予定だったが、コロナウイルスの影響によって遅れていた。今後は、市内の0歳から18歳の子ども1,914人を対象にアンケート調査を行い、11月上旬には策定案を作成、年明けにはパブリックコメントを募集し、3月下旬には計画を公表する予定である。

○五十嵐職務代理者

口頭で説明を聞いても理解するのは難しい。

○中峰教育長

計画は5年スパンで作成している。道教委の計画から8年遅れで策定した。図書館職員を中心に教育関係者に協力していただいている。

○岡田館長

計画は学校図書館も含めた内容であり、具体的な数値目標を定めている。

○山田委員

数値目標とはどのようなものか。

○岡田館長

例えば「本を読むことが好き」と答えた子どもの数を増やす事などを目標としている。

○中峰教育長

ブックスタート事業など取り組んでいるなか、幼児期に多く本に触れる機会が確保されることにより、その後も「本好き」が増えるというような傾向を期待したい。今後も随時状況を報告する。また、計画の資料を皆さんにお渡しする。

○加藤委員

子どもの数が減っていることが、この計画から見て取れる。

○中峰教育長

次に、新型コロナウイルス感染症に関わる事項についての報告にうつる。

新型コロナウイルス感染症に関わって、例年開催してきた小中学校の音楽発表会が中止になった。今年は今までの二部制をやめ、全ての児童生徒が一堂に会する形での開催を検討していたところでもあり、残念である。その他の感染症関連の対応について説明を。

○鴻野部長

学校関係では、一部の学校で学芸会を中止することになったほか、みよし市や川内村からの小学生受け入れも中止になった。あわせて、本市からみよし市への派遣事業も中止する。

社会教育関係では、チャレンジスクール、夏休みのチャレンジ寺子屋を中止し、土曜子ども文化村は10月から実施する予定。また、公民館が所管している地区ごとの文化祭について、どのように開催するか検討中。

スポーツ関係では、高平慎士氏によるスポーツ能力向上事業及び合宿選手と市民の親睦交流会が中止となった。市民クロスカントリー大会は開催するか検討中である。

○三上統括監

補正予算の関連では、これまでも市のコロナ対策交付金事業として、プレミアム商品券販売など行っているが、教育委員会関連では9月の第3回定例会に6事業の補正を要求する予定。内容は、公立学校のトイレ洋式化などを行う衛生環境整備事業や、社会体育施設の感染対策事業、小中学生を対象とした児童生徒大会参加感染防止対策事業、朝日地区も含めたスポーツイベント感染拡大防止対策事業、文化センターホワイエのトイレ洋式を行う文化施設感染対策事業、文化センターにWi-Fi環境を整備する情報通信ネットワーク環境整備事業だが、いずれも事業費は確定していない。

○中峰教育長

今年の文化祭における芸能発表会の開催状況について情報提供を。

○須藤課長

朝日地区は開催を決定したが、上士別・多寄の両地区は中止することになった。中央と温根別の両地区は検討中であり、次回の教育委員会会議で結果をお知らせできる見込みである。

○中峰教育長

延期していたサマージャンプ3大会について、無理に公認大会として行う状況ではないとの判断から中止が決定されたが、イトイ杯と合宿の里ジュニアサマージャンプの2大会を開催することになった。

臨時交付金は、過去最高であったリーマンショック時の金額を上回った。3定で示す対策は、市として第5弾となるものである。学校再開支援事業は事業費総額の半分が補助金で、残りの半分は市が負担し、交付金を充てることになる。各学校の整備予定物品等の概要について説明願う。

○須藤課長

各学校からはアルコールや非接触体温計のような衛生用品のほかに、モニターなどの電子機器の要望があるほか、学校行事等の際に使用する貸切バスの増車経費としても活用の予定である。

○中峰教育長

士小と南小は中規模校のため300万円ずつ、それ以外の小中学校は1校あたり200万円で、東高校も300万円の事業費となる。学校からは扇風機や移動式クーラー、保健室のエアコンなど要望があるが、設備工事が伴う場合は対象外となる。発注についての考え方についても説明を。

○須藤課長

複数の学校から手指消毒用のディスペンサーなどの要望が出ているが、それぞれに別の品物を指定し

ている。学校に確認したところ、同等品で構わないことが確認できたため、教育委員会で品物を選定し、まとめて見積もり合わせを行うこととする。また、財政課とも協議し、必要に応じ入札を行う考えである。

○中峰教育長

明日から夏休みに入り、各学校では閉庁日を設定している。休み中の教職員の生活についても、校長会などを通じ注意喚起している。道立学校同様、帰省や旅行など慎重な判断と対応を図るよう要請している。新学期に向け、体調を確認する期間をできるだけ設けるなど、体調管理に努めてもらいたい。

○加藤委員

学校で参観日が行われ、個人面談があったが、先生達が迷っているような印象を受けた。小学校では、子どもたちが授業の間の休み時間に一旦リセットすることでメリハリのついた生活を送っていたが、今はリセットできず、学校が「楽しい」場所ではなくなってしまった。子どもはもちろん先生もストレスを感じているようだ。遅れを取り戻そうと詰め込んだ授業になり、ついていけない子がいるのではと心配になる。一方で中学校は、若干だが余裕があるように感じた。教室の暑さ対策として、先生が私物の扇風機を持ち込んでいるとの話を聞いた。PTAの経費で扇風機を購入しようとの話が出たようだが、学校からストップがかかったという例もあるようだ。暑さで体調を崩し、具合が悪くなった子どもはいないのか。

○須藤課長

具合が悪くなった子がいるとの話は聞いていない。

○加藤委員

高校では授業中などに水分補給するよう指導されている。

○馬場委員

携帯用のハンディ扇風機を持ち込むことは可能か。

○加藤委員

高校では持ち込み可能だが、授業中の使用は禁止されているようだ。

G I G Aスクール構想で端末を購入することになるが、学校の電気の容量は大丈夫か。

○須藤課長

一人一台の端末と合わせて電源キャビネットを整備する。電気の容量についても調査している。

○中峰教育長

学校での指導が詰め込みにはなっていないものと考えているが、再度確認する。結果的に子どもたちがきちんと学べたかが大事である。例えば、理科の授業では、実験を行っていないので、たまたま教科書では8ページ分進んだことについて、保護者から問い合わせもあった。実際には後日、実験を行う予定であり「一部を後回しにした」ことになるのだが、情報がきちんと伝わっていないため、誤解も生じているようだ。

○加藤委員

学校では主体的・対話的な活動が出来ずにいる。下校してから友達とプールに行き、リセットしている場合もある。中学校の技術家庭の授業では密集しているように見えた。

○中峰教育長

文部科学省から示されたとおり、家庭科の調理実習や体育も種目によって実施を控えている。小学生、特に低学年はどうしても密になる形での触れ合いになってしまう。PTAが扇風機を購入する計画を、学校が止めたという話は聞いているか。

○須藤課長

扇風機などの購入を学校側でストップしたのは、学校再開支援事業の対象となることがわかったためである。

○中峰教育長

調達の仕方によって、いつ納品されるか不明の場合もある。店頭に並んでいる商品を買って来ると良いのだが。

○馬場委員

急場をしのぐためにPTAで余っているもの集めることはできないか。

○加藤委員

そのような対応ができると良い。コミュニティスクールなどでも協力してもらえたらと思う。

○五十嵐職務代理者

給食の時などに、以前のようにおしゃべりできないため、子どもたちがストレスを感じているようだ。間隔を空けてたうえで以前のように給食を食べることばできないのか。

○中峰教育長

対面しての食事や会話は推奨されていない。間にパーティションを置いてはどうかとの話をしたが、学校としては設置を希望していない。人との間隔が2メートル以上とればマスクを外しても問題ないと考えている。マスク着用は距離がとれない場合などで求められる対応に変わってきている。

○山田委員

学校行事は中止や延期になり、神社の祭典なども規模が縮小されてメリハリがないように感じる。今までの事はできなかったとしても、これからこういう事ができるというのを示してあげなければならない。子どもたちが目標にできるものが必要である。

○五十嵐職務代理者

大人でもやる気が起きない状況にあるのだから、子どもも同じ思いになるのは当然である。

○馬場委員

水郷公園はキャンプの利用者でにぎわっており、道外ナンバーの自家用車もたくさん見られた。

○山田委員

岩尾内ダムも同様であった。

○加藤委員

地域経済のことを考えると観光客に来てもらいたい部分もあるが、感染リスクと表裏一体である。

○五十嵐職務代理者

リモートやオンラインでの仕事や活動が、今後の移住の促進につながればよい。

○中峰教育長

委員の皆さんには学校に対してのサポートを引続きお願いしたい。学習指導員やスクールサポートスタッフなど、学校の活動を支える人材を市内各校で募集している。今までは教員免許の保有が必須条件だったが、PTAやコミュニティスクールの役員が担っても構わない。(ただし、交代勤務は不可)更に産休代替や期付の教員も募集しているので、皆さんのネットワークでお力添えいただきたい。

### 3 その他について

当面する今後の日程について

(鴻野部長説明。)

○中峰教育長

運動会・体育祭などの日程が決定したが、これまで同様、教育委員に対する案内の有無は、各学校で

の判断に委ねている。朝日中学校の学校祭では保護者用の席を用意するが、来賓に案内するかは検討中  
とのことである。また、本年もダイハツ工業による「ものづくり体験教室」を開催する予定である。

○馬場委員

「ものづくり体験教室」は大人が見てもすごくおもしろかった。子どもたちの目の輝きが違っていた。

○中峰教育長

これからも継続してもらいたいと考えている。今年度のふるさと給食がスタートしているが、これまで  
のように集まって給食を食べられる状況ではないため、まだ皆さんにはご案内していない。今後も、  
学校や子どもたちの状況に目を配っていきたい。

午後5時30分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者 中 峰 寿 彰

会議録調整者 須 藤 友 章